

在京花巻人

発行 在京花巻人会
連絡事務所

東京都千代田区飯田橋
4-4-8 東京中央ビル603号
電話 03-6256-8082



花巻市長 上田 東一



あけましておめでと
うございます。

在京花巻人会の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃より市政の推進に格別のご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年もお大迫・石鳥谷・東和の在京人会との合同企画として在京花巻人会様が幹事となつて実施された「花巻まつりツアー」をはじめ、ふるさととの交流を通じた暖かいご支援を賜り、重ねて御礼を申し上げます。昨年は、花巻の長年の課題そして新たな計画が

大きく動いた年となりました。

まず、3月に花巻中央広場を整備し、日常の憩いの場所、まちなかの賑わいづくりや活性化のためのイベントの場所など多様な活動の創出拠点を目指す広場として、多くの皆様に利用いただいております。また、同地域には災害公営住宅や子育て世帯向け地域優良賃貸住宅が完成し、リノベーションによる民間各店舗の開業等も始まつており、中心市街地の活性化が順調に進んでおります。

さらに、6月には国道4号線北上花巻道路路について国土交通省社会資本整備審議会において拡幅案が妥当と判断され、現在事業化に向け都市計画変更の手続きを進めております。9月には、東北自動車道花巻パーキングエリアへのスマートインターチェンジの設置につ

いて国土交通省において新規事業化が決定されましたし、10月には、主要地方道花巻大曲線小倉山第二工区第4トンネルを含む未改良区間の整備について、岩手県において予算化され、令和6年度に全線改良工事の完成が見込まれています。

このほか、道の駅「はなまき西園」の整備、道の駅「石鳥谷」大改修の始動、東和「ミニミニセンター」移転整備完了、更に街なか活性化事業も見込まれるなど、花巻市が大きく変わつております。

在京花巻人会の皆様には、首都圏での情報発信、移住や交流に関する施策に積極的なご協力を賜っておりますことに、改めまして感謝を申し上げます。今後とも、花巻市の一層の発展のためご支援くださいますようお願いいたします。



年頭所感

在京花巻人会
会長 瀬川 紘一



新年明けましておめでとうございます。新しい年が皆様にとりまして幸多き年になりますよう、心より祈念申し上げます。又、昨年中に在京花巻人会に頂きました皆様のご支援、ご協力に對して厚く御礼を申し上げますと共に、今年も相変わらずよろしくお願い申し上げます。

さて、私ごとになりませんが、これで昭和、平成、令和と三つの時代を生きることにになりました。私は昭和15年生まれますから5歳で終戦を迎えているので物心ついてからの75年は、ほぼ「戦後」と共に歩んだ人生と言えます。作家の池澤夏樹氏が「いくたび元号を変えようとも変わらない陰の元号がある。それは『戦後』。」と書いていま

すが、自分も同感するところが多分にあります。

その感覚は、やはりあの戦争がどのように開始され、そして内外の人々に何をもたらしたのかを問う行為が未だ十分ではないことを物語っているように思います。平成天皇が象徴としての天皇のあり方を模索する中で、戦陣に散り戦禍に倒れた人々に祈りを捧げる旅を続けられ、今また令和天皇がこの姿勢を踏襲されようとしているのに對し、国民が賛意を示しているのはその表れともわれます。

ただ、日本は今まさに国際的にも国内的にも自らの進むべき方向を見つけ出さねばならない瀬戸際にあります。近代日本にとって最大の経験であったあの戦争から何を学びこれらの国のあり方にどう繋げるのか、今我々国民が問われていると思います。

令和2年度 第35回
「在京花巻人のつどい」のお知らせ

日時：令和2年7月11日(土)
11時～14時

会場：東京ガーデンパレス
住所：東京都文京区湯島1-7-5
電話：03-3813-6211
アクセス：JR御茶ノ水駅聖橋口

が向き合った「戦後」です。詩人・弁護士であり賢治の研究者でもある中村稔氏が近著「高村光太郎の戦後」で書いていますが、何故あの雪深い山口村で光太郎は7年間も独居生活をしたのか。戦争を鼓舞した表現人として戦争責任に向き合い、「民衆」と共に生きることで「自主自立」の精神を取り戻した光太郎を、昭和50年に出版した詩集「典型」の中から読み取っています。

今年もかけがえのない大切なふる里に思いを致し、ふるさと会の皆さんと一緒に活動が続けて参りたいと思います。今年もどうぞよろしくお願致します。

会員の活動報告コーナー

在京石鳥谷町人会の集いに参加して

理事 松村 扶恵子

令和元年11月4日(月)・振替休日) お天気を心配しましたが、朝お日様が出ておりホッとして上野精養軒へ向かいました。

会場には各在京会の方々が懐かしい方々のお顔も有り、嬉しくテーブルに着きました。今年は各テーブルに八日市の吊るし飾りが置かれ、とても華やかな会場となっております。始めに高橋弘美会長のご挨拶があり、続いて総会に入り事業報告、決算報告と監査報告があり、全員異議無しで終り、親睦会へと移りました。石鳥谷総合支所の八重樫和彦支所長のご挨拶から始まり、花巻市議会小原雅道議長が挨拶なさいました。在



令和元年度 在京石鳥谷町人会総会 ご来賓の皆様

京大迫会の内村正明会長の乾杯の音頭で会食となり、恒例のお餅、芋の子汁など故郷の味に行列が出来ていました。こちらも恒例のフラダンス、地元のグループ「ロス・ポーチヨス」による懐かしい曲「フオルクローレ」の歌と演奏があり、そして私の大好きな鹿踊

り!! 美味しいご馳走を頂きながら皆さんとお話をした楽しいひと時! そして最大のイベントお楽しみ抽選会では名前を呼ばれた方々の嬉しそうな顔! 大変な盛り上がりの中に閉会へと向かいました。

在京東和町友会の集いに参加して

監事 照井 稔

昨年11月10日(日)東京ガーデンパレス(文京区湯島)で第41回の「東和町友会の集い」が開催されました。東和町には幾人かの友人もいますが「この集い」への参加は初めてです。私の東和町の思い出は中学生の頃、小高い丘の上の土沢中学校の運動場でのバレーボール大会と10年程前帰省のお土産に駅前集合荷場で「松茸」を20本も買った事です。値段も程々で立派な松茸でした。

さて集いは会員、関係先来賓合わせて100名の多くの方で会場も一杯



第41回 在京東和町友会の集い

でしたが、早速、蟹澤会長の挨拶で始まりました。ご本人は口下手と言いながらも至って名調子で日頃の取組みや今後の課題など会員に対する期待も解り易いものでした。来賓挨拶は花巻市の東和総合支所長、議会副議長から花巻市の現状や農作物の作柄までお話がありました。乾杯の音頭は石鳥谷町人会会長が声高らかに杯を掲げ、懇談に入りました。その後アトラクションとして東和町の奥様方劇団「よくまんとず東和町」の田舎弁コント、地産品の大抽選会と続き、最後は全員で新沼謙治作詞作曲の「ふるさと」は今も変わらずに大合唱。中締めは挨拶に立った花巻市東和地区長

両陛下下の即位を祝うパレードが行われる今、ここから参加者全員による万歳三唱を行い、祝福の気持を表したい旨」のお話があり、万歳三唱をしてお開きとなりましたがあつと言つ間の3時間でした。

在京大迫人の集いに参加して

松田 文男

今年の10月の台風は珍しく東日本を襲来し、その被害も甚大で復興がままならない令和元年10月27日(日)午前11時、第103回、在京大迫人会の集い」が開催されました。在京花巻人会より瀬川会長と畠山副会長、高橋千代吉副会長、私の4名が参加しました。開会に際して物故会員に黙とうを捧げた後、在京大迫人会会長の内村正明氏のご挨拶で総会が開催されました。続いて内村会長から今後の「在京大迫人会の在り方」のアンケート調査の報告がありました。また市長代理で出席された大迫総合支所長の清水正弘様が、大迫の現在の人口は4938名であると申しておりました。

がこれは所謂世間で言われる少子高齢化の問題でこの問題は他の在京会の未来を物語っていると面白い看過できる問題ではないと思いましたが、在京大迫人会の総会は今年で103回とまさしく在京会のレジエントでありこのまま残り続け、懇親会だけ共同開催されるのがよいのではないかと思いましたが。続いて花巻市議



令和元年度 在京大迫人の集い

会議長の小原雅道様の花巻市の現状を踏まえての挨拶と祝電の披露があり、11時40分ごろに本日のメインイベント、亀ヶ森の先人(皇后陛下ゆかりの先人たち)の特別講演が花巻市総合文化財センター専門官の中村良幸様よりなされ、初めて知る先人たちの功績にただ驚嘆しました。最後は特別顧問の菊池裕様の恒例のイーデルで盛会裏のうちにお開きとなりました。

第21回岩手県人連合会 ゴルフ大会開催 ～在京花巻ふるさと会 から6名参加～

監事 照井 稔

恒例の岩手県人ゴルフ大会が昨年秋10月9日紫カントリークラブあやめコース(野田市)で好天のなか189名という稀に多くの参加者を集め盛大に開催されました。今回の大会運営は第1ブロックの担当で泉山芳樹大会委員長(東京福隆会)のもとで進められました。



花巻ふるさと会からも 島山秀(花巻)、佐藤充功(大迫)、高橋弘美、板垣幸雄、川村三郎(石鳥谷)と私の6名が参加しました。皆さんも毎年

に練習はもとより、プレー回数も少なくなっているの、午前のスコアを見て、昼食でアルコール分を多めに補給して午後の競技に備えました。いつもの通り16時頃から成績発表を兼ねた懇親パーティが始まり会長挨拶に続き、今回の最高齢プレーヤー二戸人会の下村さん(88才)の乾杯の発声の後、成績が発表されました。

花巻ふるさと会の2名はネットスコア73〜76で上位に入っています。但し、2名はグロス、ネットとも同スコアでブルー賞、BBメーカー賞を並んでいたいています。その一人は私です。有難うございました。令和2年こそ がんばるゾー!

大好評のアリオ川口店 でのイベント報告

副会長 島山 秀

セブンイレブンジャパンと花巻市が提携している「地域活性化包括連携協定」に基づく3回目のイベントが10月20日にイトーヨーカ堂アリオ川口店で開催されました。昨



年のアリオ上尾店に続く大きなイベントでしたが超大型の台風19号の上陸で首都圏の電車が全面的にストップしてしまつた為に予定が大きく変更となつてしまいました。東京からもお手伝いに行けず困つておりましたが午後3時過ぎ東京駅で赤羽までの電車が出来ますと言われて乗つた所幸にも大宮までの一番電車となり4時頃アリオ川口店に到着する事が出来まし

た。台風の影響でお客様が少ないのでと心配して行きましたが、台風一過の好天の中多くのお客様で賑わっているのが安心しました。楽しみにしていたわんこそば大会と鹿踊りの演舞が中止となつて残念でしたが産直部門の皆さんに頑張つて頂いたお陰で一日だけの開催ながら多くの市民の皆様在花巻の

良さを分かつて頂き大きな成果が上がりました。帰りの新幹線が走っていないので心配しましたが川口から花巻まで夜行バスがあると聞き安心と共に多くのリスクを負いながら台風負けずに頑張つた関係者の行動を褒めたいと思えました。

ご存知ですか!

【ふるさと納税】を 美味しくお得な花巻

副会長 島山 秀

この【ふるさと納税】制度は地方振興の一環として国が定めた政策で私も前から知ってはおりましたが、税金は面倒くさいとの思い込みからこれまで実施していませんでした。今回思い切つて花巻市役所に問い合わせました所、これは税金ではなく寄付行為でお振込み頂いた金額の証明書を地元の税務署に提出する事で還付が受けられ一円の負担も無い事が分りました。

それよりも花巻を思う気持ちに対する御礼として金額に応じて数多くの素晴らしい返礼品が用意されている事です。寄付金の使い道も指定が出

来、私は迷わずに上田花巻市長の掲げる交流人口拡大の為に役立てて欲しいとお願ひしました。納金は郵便局からの指定がありました。納付書には住所氏名が印刷されており、勿論振込料は夕夕でした。最後に次春地元税務署に提出すれば税金の還付が受けられる書類が送られて来て一円の負担もなく美味しい白金豚を食卓に乗せる事が出来ました。

先ずは花巻市ふるさと納税代理業務「花巻市観光協会ふるさと納税係」にご一報を!

JR大宮駅での いわて産直市を 訪ねて!

副会長 高橋 良光

昨年11月9日(土)から14日(木)まで、JR東日本盛岡支社主催で「いわて産直市」が大宮駅イベントスペースで開催されました。

花巻からの出店は道興金婚亭、佐々長醸造、共同農産、JAいわて花巻で漬物、味噌、醤油、りんご、米等を販売。又、沿岸地区からは釜石の中



村屋(三陸海宝漬)、大槌の大串商店(昆布類)、大船渡の酔仙酒造、さいとう製菓(かもめの玉子)、一関からは佐々木製菓(煎餅類)、松栄堂(田村の梅)等の店舗が並んでいました。イベント会場は東口から西口に通り抜ける人、乗り換えの人、帰宅する人々で混み合っていました。多くの人がこの産直に立ち寄っていました。自分は2日目の夕方行つて来ましたが、りんごは当初の販売予定分はすでに売り切れ、翌日花巻から20箱以上が届く予定なので頑張つて売りたいと張り切つており、予定していた以上の売り上げが期待出来そうだと話されていました。

実りの秋の物産は今が旬とのこと、今後も首都圏のターミナル駅で産直市を開催するそうです。

《はなまき あれこれ》

花巻農業高校鹿踊部が「活力あるまちづくり表彰2019」

2018年の第42回全国高等学校総合文化祭の郷土芸能発表部門で最優秀賞・文部科学大臣賞を受賞した花農高の鹿踊部が、2019年の花巻市活力あるまちづくり表彰を受けました。同部は、1958年（昭和33年）有志の集まりから鹿踊に取り組み始め、同好会を経て部活となり、60年の歴史を重ねてついに一昨年全国の頂点に立ちました。

現在の部員は29名（15名が女子部員）、同校の中でも人気の部活動の一つ。ただ、太鼓を含めた装備・装束の総重量は15キロで、これだけの重さをまといながら太鼓を打ち鳴らし唄い、踊るので、部活動は体育系の部活以上にハードとのこと。練習は、ランニングやストレッチ、それに体幹を鍛えるメニューのほか発声練習もあり、それから唄や踊りの練習をこなしています。

部長の高橋詩織さん、副部長の新藤真花さん始め部員のほとんどが高校入学前は鹿踊の経験者ではなく、入学後にいった鹿踊部で鹿踊の魅力に取りつかれたとのこと。舞台に立ってるのは8人が基本なので、部員は中心メンバーとなることを目指して体力づく



りに励んでいます。

部員が「日本一になれたのはこの方のおかげ」と口を揃える人物が、春日流落合鹿踊保存会の会長であるコーチの大野五月男さん。1998年から指導を始め、なかなか日本一に手が届かず一度指導から離れたこともありましたが、4年前に部員の懇願でコーチに復帰し、念願の日本一を勝ち取りました。

（花日和9月号、広報はなまき9/1号より）

映画「蜜蜂と遠雷」と宮澤賢治

恩田睦の小説「蜜蜂と遠雷」は、直木賞と本屋大賞をダブル受賞した史上初の小説です。映画化は不可能だろうと言われた小説でしたが、映画化が実現し昨年10月4日に全国公開されました。映画は国際ピアノコンクールが舞台、4人の若き天才ピアニストたちが熾烈な戦いを通して成長を遂げ、覚醒していく物語です。

この映画の中で、宮澤賢治の「春と修羅」がコンクールの課題曲となって登場しました。又、演奏方法を模索する場面では、「春と修羅」の詩の一節もセ

リフに使用されストーリーを引き立てました。

賢治フェスティバル実行委員会は、映画とタイアップ企画を実施。映画「蜜蜂と遠雷」の撮影で実際に使用された衣装や小道具、劇中シーンパネルなどが、イトーヨーカ堂花巻店の情報発信スペース「プラット花巻」では9/12～10/10、その後10/12～11/10は宮澤賢治童話村の賢治の学校内ギャラリーで展示されました。さらに映画観賞券プレゼントキャンペーンなども開催され、市民の注目を集めました。（広報はなまき9/15号、花巻市HPより）

花巻出身の堀田賢慎君がドラフト1位指名される

2019年のプロ野球ドラフト会議で青森山田高校の堀田賢慎投手（右投、右打）が読売ジャイアンツのドラフト1位で指名されました。堀田投手は花巻北中学校の卒業で、185センチの長身から150キロの速球を投げる本格派投手。スライダーを主体として組立て、ピンチでは声を挙げて投げ込む迫力ある投手とのこと。

甲子園出場こそないが、3年生の春の青森大会で優勝の原動となった選手。今回のドラフトで大船渡

高校の佐々木朗希投手はロッテ球団から一位指名されていて岩手県から2名の1位指名の選手がありました。菊池雄星、大谷翔平投手等岩手県からどうしてよい投手が生まれるのか、野球評論家の間で話題となっているとのこと。1年目からの活躍を期待しますが、故障することのない様十分に野球の出来る体を造り、活躍されることを望みます。

副会長 高橋 良光

第29回宮澤賢治賞・イーハトーブ賞の受賞者が決定

「宮澤賢治賞」と「イーハトーブ賞」は、宮澤賢治に関する優れた研究や、その精神を実践している人に贈られる賞です。この二つ賞は、花巻市が毎年度、候補者の選考について「宮澤賢治学会イーハトーブセンター」に意見を求め、その選考の結果を受けて決定・表彰をしています。2019年度は回を重ねて第29回となりました。

第29回の「宮澤賢治賞」は、残念ながら受賞対象者なし、宮澤賢治賞奨励賞に3人、イーハトーブ賞に1人、イーハトーブ賞奨励賞は、該当者なしと決定しました。宮澤賢治賞奨励賞には、詩と宗教の絆に迫った「挽歌と反語－宮澤賢治の詩と宗教」を執

筆した富山英俊さん、賢治に倣って岩手県を旅し詩集「紫雲天気、嗅ぎ回る岩手歩行詩篇」を出した詩人の暁方ミセイさん、賢治の童話を題材とした書の作品展「沢村澄子展 銀河鉄道の夜」を開催した沢村澄子さん。イーハトーブ賞には、アートディレクターとして都市でのパブリックアートや地域での芸術祭を精力的に企画している北川フラムさんが選ばれました。



(広報はなまきより)

「宮澤賢治のイーハトーブ花巻レストラン」開催

「宮澤賢治のレストラン」や「宮澤賢治お菓子王国」などの著作のある賢治のファンで料理研究家の中野由貴さんが、エッセー「宮澤賢治の花巻レストラン」を発表。

このエッセーでは、花巻の豊富な農畜産物や農の風景が宮澤賢治のエピソードや作品とともに紹介されています。(ウェブサイト「まきまき花巻」に掲載されています)

このエッセーがもとになり始まったのがこの企画で、同氏のメニュー監修により花巻市内の8飲食店で花巻の旬のこだわり食材で宮澤賢治の童話世界を味わえる特別メニューを提供するというもの。特別企画メニュー提供期間は8/27～11/10、参加8飲食店は、イル・クオーレ(松園町)、華胥の郷

(湯口)、HAIKARA-YA(諏訪町)、ファームプラス(上根子)、ちょうちん酒場又三郎(ホテル志戸平内)、山猫軒本店(賢治記念館前)、山小屋カフェkurakake(高松)、レストランポパイ(若葉町)、喫茶猫の事務所(イーハトーブ館前)、宮澤賢治記念館喫茶、です。

特別企画メニューは、例えば「イル・クオーレ」では「花巻野菜の宝石箱～虹とルビーの絵の具皿～コース料理」を提供、童話「十力の金剛石」に登場する草木の宝石を表現しています。

昨年の催しは終了していますが、今年の帰省の際の情報として、今年の企画を注目したいと思います。(ぼらーの花巻10月号、花巻市ホームページより)

稚子皇后とゆかりがある大迫亀ヶ森

皇后陛下稚子様と花巻市大迫の亀ヶ森とゆかりがあることを知っていましたか？ 皇后陛下の母方の系図を見ますと、お母さまの小和田優美子さんのご両親は、海軍大将山屋他人の長女壽々子さんと海軍中将江頭安太郎の子息豊さんです。この海軍大将山屋他人が、亀ヶ森と大いに関係がある方なのです。

山屋他人は慶応2年(1866年)盛岡藩士・山屋勝寿とヤスの間に生まれていますが、山屋家は中世に稗貫氏の支族で亀ヶ森城主であった亀ヶ森氏の一族、亀ヶ森能登嘉明を始祖としています。能登嘉明は盛岡藩より百石を給されて九戸郡山屋村を拝領したことから山屋三右衛門と改め山屋家の祖となりました。

又、先述した山屋他人の母親ヤスは、亀ヶ森の士

分菊池弥兵衛の次男の野辺地三弥(盛岡藩野辺地家を継ぐ)の子女の野辺地ヤスです。なお、野辺地三弥の子息即ちヤスの兄は野辺地尚義です。野辺地尚義は幕末に盛岡藩を脱藩し、江戸で大村益次郎の鳩居堂で学び勝海舟や大鳥圭介らと交流、その後長崎に出て英語を勉強し、長崎遊学後は伊藤博文や木戸孝允に英語を教えたと言われていました。その後教育に携わりましたが、明治14年鹿鳴館に対抗して芝に建設された「紅葉館」館主となり29年務め上げました。(花巻市総合文化センターの資料より)





城守 節子

(花中33年卒)

新幹線北上駅下車、何十年ぶりの東北本線で花巻駅へ。久しぶりの花巻駅前立ち感無量でした。宿泊先ホテルグランシエルでの「歓迎昼食会」へ。花巻市長、副市長、宮澤家新当主各位からの歓迎の挨拶を嬉しく受けました。地元食材での懐かしいお料理を美味しく頂きました。「花巻まつり」見物へ。見物場所には差し入れだという懐かしいお茶菓子とお茶が用意されていて嬉しい限りです。

「花巻まつり」はパレードで「子供神輿」33チーム。元気な豆絞りの鉢巻姿と笑顔にこちらもにっこり。ダダスコダンの鹿踊りは20チーム。花農高の太鼓のリズムとササラの動き、音に思わず合掌……不思議です。「山車」12団体、チャンチャーラントのお囃子と掛け声「ヨーイ、ハイ」で当時に戻り思い出しました。鳥谷崎神社御神輿渡御に平和を祈り

お初穂を…… 鳥谷崎神社のお札を頂きました。

「大人神輿」は81チームも。掛け声も「ワッショイワッショイ」「ソイヤソイヤ」の二つ。何年か前の114基の御神輿はギネス登録とかくすごいネ!! パレードの間をを利用して屋台へ。お祭りの晩です! みそおでんに焼き鳥、お隣さんの美味しそうなモツ煮こみに私も。自由で楽しい晩御飯でした。二次会の帰りは上町↓吹張町↓大通り↓ホテルへと月と星を見上げながら夜の花巻の街を歩きました。

翌日は特産品フェア会場(旧花巻中学校跡)へ。アユ塩焼を食べてみそ漬け大根、なはん志を巻、すき昆布、うに缶を購入。大々好きな郷土食達です。大迫ワイン祭り会場ではワインを飲み比べカツサンド等のオードブルに大きなお握りを食べてびっくり、イクラとサケが沢山! 満腹しました。文化財センターでは「豊沢川流域の工ミシ」のお勉強を、市内に

縄文古代の遺跡が残されているとの事でした。東京に帰る新花巻駅では夕食のお弁当とお茶が用意されていました。

今回私にとつては五十年ぶりの「花巻まつり」でした。色々なことが思い出されました。そして懐かしい花巻の味でした。心から懐かしい「花巻」の味でした! 心から懐かしい「花巻」を感じたツアーでした。お世話になった皆様ありがとうございました。



伊藤 準

(花中34年卒)

49名の在京花巻ふるさと会の皆さんと共に9月14日(土)〜15日(日)の2日間花巻まつりツアーに参加しました。盛りだくさんのスケジュールで花巻の雰囲気や大迫のワ

イン祭りなどを楽しんで来ました。

東京駅からの車中では初めて話をする方が大半でしたが、いろいろ花巻の事を教えていただきました。初日到着後の昼食会には花巻の魅力化に熱心に取り組まれておられる上田市長や同級生の故宮澤啓祐君の後継者であるお嬢さんのご挨拶もあり更には予定外で鹿踊まで鑑賞することが出来ました。この食事会でもいろいろな方と交流でき、みなさんそれぞれ故郷に対する熱い思いをお持ちなのを実感できました。

わたしの生家は鍛冶町にある商家でしたので、物心ついた頃より家の前で花巻まつりを見ていました。小中学校の時には毎回樽神輿を担いでいました。当時は町内ごとに山車をつくり、子供用や大人用の樽神輿を担ぎパレードに参加したものです。町内にはそれぞれ番屋がありお菓子やおむすび、飲み物、お酒等が置いてあり楽しみでした。

年と共に私自身花巻まつりにはあまり関心がなくなりました。それでも一昨年他界された宮澤啓祐君が中学、高校共に毎年同期会を企画してくれて

ましたので年に数回は帰省しておりました。花巻温泉や彼の経営するクラシエルに宿泊し同級生と深夜迄酒を飲み交わし旧交を温めておりました。

420年を超える歴史を持つ花巻まつりについては関心がなくなりましたが、毎年9月になると花巻ばやしや風流山車を思いだし、突然見てみたいと思うこともありました。そして一昨年は早くから花巻温泉を2泊予約し花巻まつりをあまり知らない妻と車で花巻に行きました。ところが花巻は暴風雨にみまわれ花巻まつりは中止になりました。一昨年をリベンジしようと思いきや早くから花巻まつりを見に行く計画を立てていましたが、幸いなことに在京花巻人会の花巻まつりツアーがあるという事で直ぐに参加申し込みをしました。

天候にも恵まれ最高の花巻まつりツアーとなりました。久しぶりに日本最大の鹿踊りパレード、12の花巻ばやしの奏でる風流山車を見て改めて感動しました。当日の居酒屋

での二次会も大いに盛り上がり時の経つのも忘れられるほどでした。

翌日は全国的に有名な大迫ワイン祭りに参加しワインシャトルウ大迫でエーデルワインを堪能してきました。3連休でもあり続々と観光バスや他県ナンバーの車、外国からの観光客も押し寄せ大賑わいでした。在京花巻人会のつどいにもお見えになる社長さんのおかげで自然の中で本当に楽しい一時を過ごしました。

今回のツアーはひとえに在京花巻人会幹事さんや地元在住の訪問先関係者の至れり尽くせりの準備のおかげでも楽しく、満足のいくツアーでした。やはり故郷は遠くで思うだけでなく、時々近くで見ないとますます遠いものになると思います。また花巻を思う時在京花巻ふるさと会のみなさんとの交流が最高のものであることを実感しました。

最後に花巻頑張れ!





副会長 高橋 良光
 花巻まつりツアーの募
 集案内は9月14、15日の
 一泊二日でしたが私と仲
 間11人は皆より一日早く
 13日に出発しました。仲
 間とは私が60才定年後の
 次の職場で一緒に仕事を
 した仲間出身が花巻以
 外の後期高齢者達です。
 折角花巻に行くのなら温
 泉に泊まりたいと言つ事
 で一日早く新花巻に出発
 しました。
 駅からマイクロバスで
 賢治記念館を見学。次に
 向かったのは花巻東高校
 で学校では校長先生、副
 校長先生、小原事務局長
 さんから大歓迎を受けま
 した。校舎も案内して頂
 きましたが、会う生徒の
 明るい挨拶、規律ある行
 動が学校の雰囲気を見わ
 けていて気持ち良かった
 です。校舎の前面には

「祝・菊池雄星」「祝・大
 谷翔平」の2本の大きな
 垂れ幕があり、玄関を入
 ると県大会や甲子園で活
 躍した時の優勝旗、盾
 トロフィーがずらっと飾
 られていて野球部の活躍
 を思い出させてくれました。
 夜は大沢温泉の山水
 閣に宿泊、豊沢川側にあ
 る大露天風呂に入り一日
 の疲れを取りました。
 翌日は昼から14日の
 朝東京駅を出発したツ
 アーの皆とホテルグラン
 シエールで合流。皆揃つ
 たところで長井副市長に
 も出席して頂き歓迎昼食
 会を開催。花巻まつりの
 沿革や、風流山車の話を
 しながら参加者の懇親を
 図りました。昼食会の後
 は祭りの見学。久し振りに
 観る鹿踊りや神輿のパ
 レード、着飾った子供達
 が引く12台の風流山車の
 行列。420年を越す花
 巻まつりの山車は豪華絢
 爛で観る人を楽しませて
 くれました。山車を観た
 後仲間11人と駅近くにあ
 る高さ10m長さ80mの擁
 壁に映る「銀河鉄道の
 夜」をイメージした浮か
 び上がる幻想的な壁画を
 観に行つて来ました。
 15日は朝ホテル玄関前
 で記念の集合写真を撮
 り、市民体育館で行われ

ている物産展へ。市内の
 商店、姉妹都市からの出
 店、沿岸の釜石、田老町
 からの物産販売で館内は
 とても賑わっていました。
 そこからバスで大迫
 ワインまつりへ移動し、
 オードブルやお握りをつ
 まみにワインを飲みなが
 らの昼食となり、その日
 もお天気に恵まれ大勢の
 人で賑わっていました。
 帰りは大迫にある総合文
 化センターに寄り早池峰
 山や神楽に関する映像等
 を見学。夕方新幹線に乗
 り8時東京駅に到着。久
 し振りに花巻を楽しめた
 旅行でした。



私の友人達も花巻まつ
 りや温泉を十分に楽しめ
 た旅行だったと喜び、幹
 事の花巻人会の役員にご
 苦労様でしたと言つ言葉
 が有りました。

花巻まつりツアーを企画して

昨年9月の花巻まつりツアーは、在京花巻人会にとりましては「在京花巻人のつどい」に肩を並べる、大きな催しとなりました。今は、何の事故もなく無事終了したことにホッとしているところです。又、毎年雨が心配される花巻まつりですが晴天に恵まれ、又、翌日の大迫ワインまつりも晴天で、参加者に大いに楽しんでもらえたことは幹事とりまして大きな喜びでした。

会員を花巻まつりにお連れしたいというのは、実は会にとっては長年の夢であり願いでした。何といても花巻まつりは花巻の最大のイベントで、市民が力を合わせて盛り上げる花巻人の絆の象徴であり、多くの市民が毎年楽しみに待ちわびています。そして、花巻まつりは地元の人々が中心となって祈り楽しむまつりであり、花巻に縁のある人々のまつりです。従って、花巻を離れて首都圏で暮らす会員にとっては、極めて懐かしく、又、思い出深いのではないかと思います。

一方、会員の中には実家が無くなっているとか、友人や知り合いがあまり居ないという方も多く、花巻まつりを見に帰省する機会はあまり多くないよう見受けられます。又、実際に花巻まつりを見に帰っても、まつり見物は単なる一観光客として見ることにになり、折角の機会もまつりを身近に感じることが出来ないようです。



そんな会員の方々に、花巻まつりを身近にお見せしたいというのが今回の企画の意図でしたが、花巻市をはじめ多くの方々のご協力で何とか達成することが出来たかなと思います。特に花巻市は、見物場所の確保や設営、二次会の設定などで大きな協力を頂いただけでなく、随所で参加者歓迎の姿勢を示して頂き、参加者に大変喜んで頂きました。紙面を借りて厚くお礼を申し上げます。

ふる里花巻を離れてから長い会員の皆様には、自分の家族の次世代、次々世代に花巻の良さを伝え残したいという願いがあると思いますが、花巻まつり見物はその絶好の機会かと思っています。現時点では時期は申し上げられませんが、これからもそのような機会を是非作りたいと思っています。最後になりましたが、ツアーにご参加頂いた皆様に心より感謝を申し上げます。
 在京花巻人会 幹事一同

親睦
交流

第26回 歩こう会

桜木町から汽船道を抜け横浜三塔を臨み山下公園へ

世話人 松村扶恵子

11月17日(日)晴れて気持ち良いお天気の中、朝10時38名がJR桜木町駅集合。ランドマークへ続く動く歩道を歩き帆船日本丸を横目に見ながら通り過ぎようとした時、思いがけずこの日は月に1~2回しかない数少ない帆を張るイベントの日と判明、これは見逃せないだろうとスケジュールを変更、ボランティア100名程による全て手作業による総帆展帆を見ることが出来ました。時間の関係も有り8割がた帆の張られた所まで見て汽船道を歩き赤レンガ倉庫へ。ここでトイレタイム。我々は次の横浜市開港記念館に向かい内部を見学、横浜三塔の横浜税関(クイン)、神奈川県庁(キング)、横浜市開港記念館(ジャック)と大正から昭和の初期に建てられた歴史的建造物を見ながら象の鼻パークで停泊中の豪華客船「飛鳥II」をバックに集合写真を撮り、大さん橋(愛称「くじらのせなか」)へ。ウッドデッキを上まで登り、今見て来た三塔やベイブリッジなど美しい景観に見とれました!その後山下公園へ。日曜日とあって沢山の人出でしたが、赤い靴の女の子像などを見ながらここで昼食の自由行動、それぞれ中華街

へ。中華街は人、人、人で歩くのも大変な混み具合でした。昼食後、シーバスの時間まで、山下公園のバラ園を散策、秋のバラがきれいでした。シーバスは山下公園から横浜駅東口まで主要観光地を海から眺められる海上バスです。船での移動も楽しい事でした。陽が傾きかけた横浜駅で解散し有志約20名は二次会へ。今回の歩こう会も無事楽しく終了致しました。参加して下さい皆様有難うございました。そして大変お疲れ様でした。今回私の万歩計は15,000歩でした!!



「ふるさとツアー2020」のお知らせ

在京花巻ふるさと会の2020年のツアーは在京東和町友会が幹事となって実施されますが、その詳細が発表になりました。

時期はゴールデンウィークの令和2年5月2日(土)~4日(月)、復興支援ツアーと同じ2泊3日のバス旅行となります。1日目は東京駅八重洲口を出発し蔵王ハイラインお釜見学のあと花巻に向かい愛隣館宿泊、2日目は田瀬湖をめぐり土澤アートクラフトフェア見学、宿泊は農泊組

とホテル組(愛隣館)に別れます。3日目は狛鼻溪舟下りを楽しんだ後、一路帰京します。

費用は、ホテル1泊・農家1泊は41,000円、ホテル2泊は45,000円となります。定員は40名、3月31日が締め切り日となっています。参加してみたいという方は、在京花巻人会の高橋良光副会長(携帯090-5448-8198)までご連絡下さい。

会費納入のお願いと納入状況

在京花巻人会の運営にご協力を賜りありがとうございます。花巻人会は会員の皆様からの会費で運営させて頂いております。会費は「花巻人のつどい」「会報の発行」「歩こう会」等に使用させて頂いております。令和元年度の年会費3,000円は第55号会報同封の振込取扱票(手数料不要)で最寄りの郵便局より下記口座にお振込み頂きますようお願い申し上げます。

□座名義 在京花巻人会

□座記号番号 00240-6-111794

令和元年度の年会費納入額は12月30日現在254名762,000円となっております。

皆様のご協力に感謝とお礼を申し上げます。

会計担当 高橋良光 板垣雅子

新井薬師節分会の丹内獅子躍の
応援に行ってみませんか

毎年会報でお知らせしておりますが、今年も2月3日(月)新井薬師梅照院の節分会に東和町の金津流丹内獅子躍が演舞を奉納します。

昼前に梅照院境内で演舞を奉納した後、一行は中野サンプラザまでパレード、13時頃からサンプラザ前の広場で演舞を披露します。

サンプラザ前の演舞終了後、一行は氏子代表や鬼と共に参道を大勢の観客に豆を撒きながらパレードし、梅照院に戻ります。3時頃から梅照院では舞台上で節分会の有名人の豆まきや他の芸能などが披露され、丹内獅子躍もここで最後の演舞を奉納します。

是非都合の良い時間に合わせて応援に行っていたらと思います。(編集部)